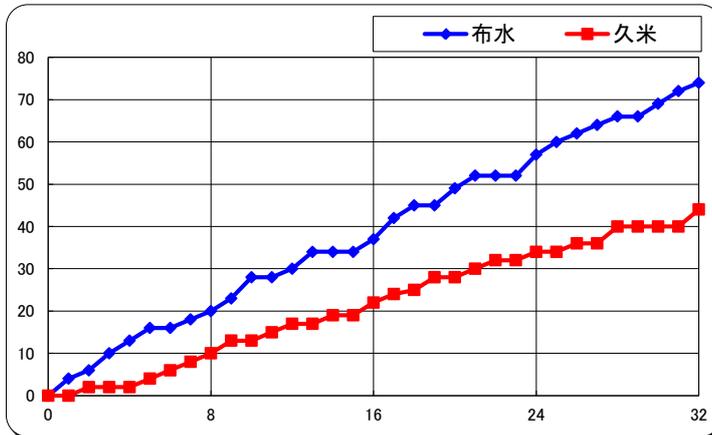




THE 44th ALL ALL JAPAN
Jr HIGH SCHOOL

【得点経過】



大会名	平成26年度全国中学校体育大会 第44回 全国中学校バスケットボール大会																
会場	高松市総合体育館																
日時	平成26年8月24日(日) 11:40																
コート	T Aコート 第3試合																
カテゴリー	男 男子決勝トーナメント1回戦																
主審	柏原 琢磨 (徳島)																
副審	草野 伸明 (東京)																
Team A	<table border="1"> <tr><td>20</td><td>1st</td><td>10</td></tr> <tr><td>17</td><td>2nd</td><td>12</td></tr> <tr><td>20</td><td>3rd</td><td>12</td></tr> <tr><td>17</td><td>4th</td><td>10</td></tr> <tr><td colspan="3">OT</td></tr> </table>	20	1st	10	17	2nd	12	20	3rd	12	17	4th	10	OT			Team B
20	1st	10															
17	2nd	12															
20	3rd	12															
17	4th	10															
OT																	
布水	74	44	久米														
石川	○		愛媛 ●														

【BOXスコア】

Team A		布水					
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則
4	中藪 柊	✓	3	1	0	0	0
5	大倉 颯太	×	9	1	3	0	1
6	北方 裕也	×	23	5	3	2	1
7	中道 滉	✓	2	0	1	0	0
8	佐野 良也	✓	0	0	0	0	0
9	清水 宏記	×	2	0	1	0	1
10	辻本 真都	×	10	0	5	0	0
11	萩原 太郎	DNP	0	0	0	0	0
12	橋本 一輝	×	15	3	3	0	2
13	柿本 幸一	✓	0	0	0	0	0
14	吉田加偉斗	✓	0	0	0	0	0
15	小林 翔	✓	2	0	1	0	1
16	森島 瑞樹	✓	0	0	0	0	3
17	高木 健生	✓	2	0	1	0	0
18	番場 望	✓	6	2	0	0	0
監督	小田原 誠						0
コーチ	石過 祐樹						0
合計			74	12	18	2	9

Team B		久米					
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則
4	岡本 瞬	×	5	1	1	0	2
5	岡田 知紘	×	13	0	6	1	1
6	田中 謙伍	DNP	0	0	0	0	0
7	乃万 隼也	DNP	0	0	0	0	0
8	岡田 泰希	×	20	1	7	3	1
9	尾下 達郎	DNP	0	0	0	0	0
10	曾我部響汰	DNP	0	0	0	0	0
11	曾我部鈴汰	DNP	0	0	0	0	0
12	青木龍之介	×	0	0	0	0	0
13	富所 佑太	DNP	0	0	0	0	0
14	田口 敢太	DNP	0	0	0	0	0
15	仙波 洋人	×	6	0	3	0	1
16	池田 憲昭	DNP	0	0	0	0	0
17	永井 敦士	DNP	0	0	0	0	0
18	中本 祥太	DNP	0	0	0	0	0
監督	堀内 弥生						0
コーチ	山内 裕之						0
合計			44	2	17	4	5

【戦評】

決勝トーナメント1回戦、北信越ブロック代表布水と四国ブロック代表久米の一戦。大会2日目第3試合、布水はハーフコートマンツ、久米はゾーンDefで始まる。序盤、布水は相手、久米のゾーンDefに対して#5、#6のドライブとパスを使っての攻撃で得点する。対する久米は、#5、#8の思い切ったシュートを打つも、なかなかシュートが決まらず、1Qを布水20—10久米で終了。2Q開始1分、いきなり久米#8の3Pでようやく波に乗るかに見えたが、その直後、布水#6、#12の連続3Pを決められ、逆に得点差を広げられる。あせった久米はなんとか点差を縮めようとするが、攻撃がうまくいかず、逆に点差を広げられてしまい、布水37—22久米で前半を終了。
後半、立ち上がり久米は、前半よりも更にボールにプレッシャーをかけて、布水のボールを奪って早い展開に持ち込もうとするが、今日5本目の3Pシュートを、布水#6に決められるなどで点差はどんどん広がっていく。4Q、久米はリバウンドからの速攻、#4の3Pでなんとか食らいつくも、布水#5のインサイド、アウトサイドからの多彩な攻撃、#6の外角シュートがどんどん決まり、結果、布水74—44久米で、大差をつけて布水の勝利となった。しかし、点差はついたものの、お互い最後まで自チームの試合をしようとする信念が見えた好ゲームだった。

【戦評記入者】

小村 城